

第4章 地域別構想

1 基本的な考え方

東松島市では、市民センターのある8つの地域に市域を区分し、それぞれの地域で自治組織が中心となってまちづくり活動に取り組んでいます。

東松島市第2次総合計画では、「地域別まちづくり構想」として、各地域において将来的な地域づくりの目標を持ち、「目指すまちの姿」と「まちづくりの方針」を示しており、市と市民との協働によるまちづくりを進めています。

本都市計画マスタープランにおいても、各地域が目指すまちづくりを踏まえた都市づくりを進めるため、各地域の「地域別まちづくり構想」を受けて、地域別構想として「都市計画マスタープランにおける取組」を示します。なお、本都市計画マスタープランでは地域別構想は8つの各地域の地域性や地形、都市基盤施設の整備状況等に基づく行政（都市計画）としての考え方を整理しています。

東松島市第2次総合計画から作成



▲子どもの遊び場の充実



▲青いこいのぼりと大曲浜獅子舞

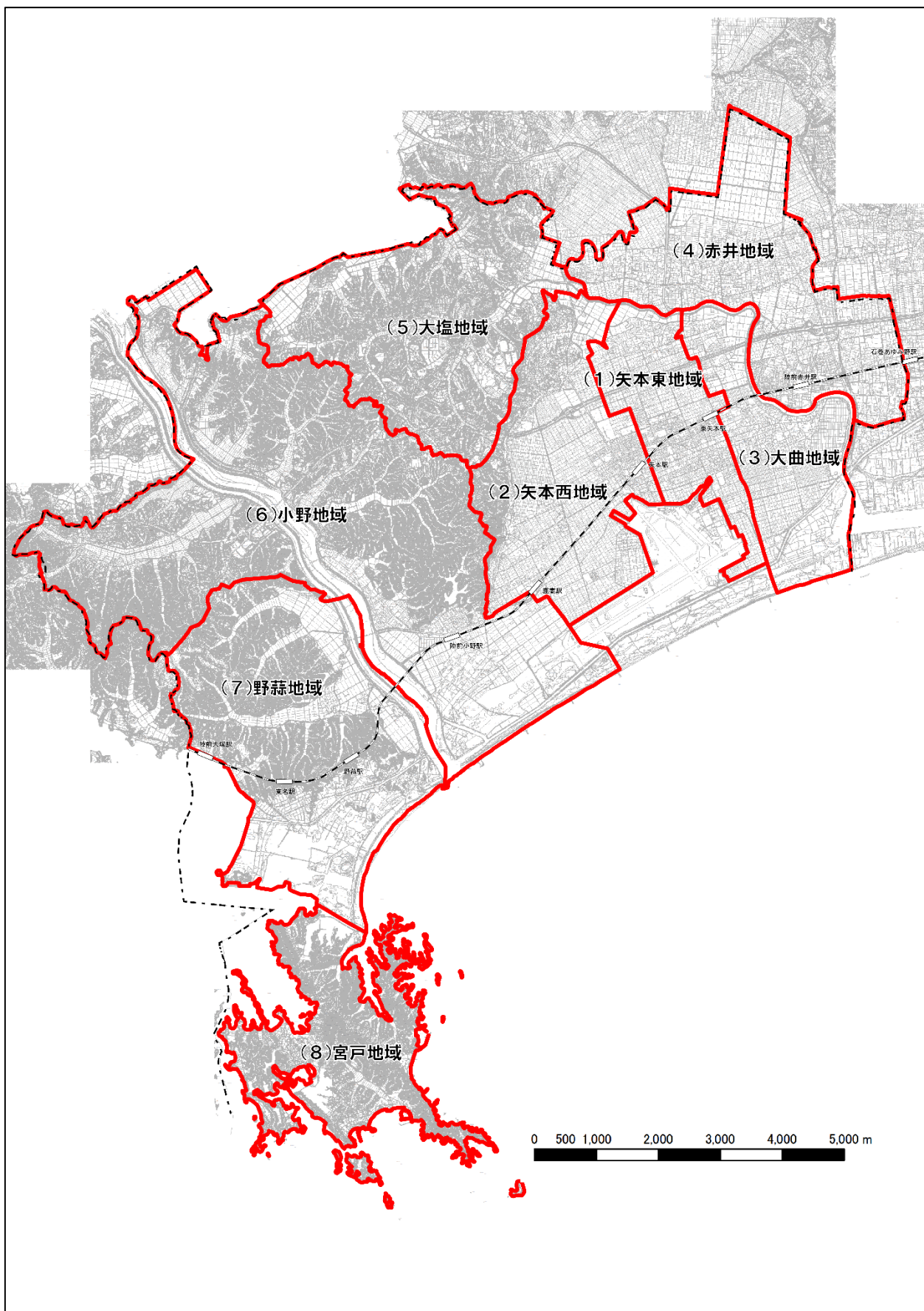


▲東松島夏まつりの熱気



▲海水浴場の賑わい

■ 地域区分図



2 地域別構想

(1) 矢本東地域

①東松島市第2次総合計画に掲げる地域別まちづくり構想

<地域の現状>

- 矢本東地域は、東松島市の中心部に位置し、国道45号が横断するほか、JR仙石線東矢本駅が立地する地域です。
- 国道45号沿道には住宅街が、北部には農地が広がっています。南部には、ブルーインパルスが所属する航空自衛隊松島基地があるほか、中央部には、商業施設や住宅が広がる市街地が形成され、市役所をはじめとした公共施設も集積しています。
- 東矢本駅北側では、東日本大震災の津波被害に伴う集団移転先となる「あおい地区」が整備されました。

<地域の課題>

- JR仙石線矢本駅、東矢本駅など優れた交通環境があり、市役所をはじめとした都市機能が集積している地域の特徴を活かしたまちづくりが必要です。
- 航空自衛隊松島基地を地域資源として捉え、まちづくりに活かしていくことが必要です。
- 「あおい地区」を含め、地域コミュニティのさらなる活性化に取り組むことが必要です。
- 従事者の減少や高齢化、後継者不足などに対応し、地域産業である農業の活性化が必要です。
- 良好な住環境を活かし、若者が定住しやすい環境づくりに取り組むことが必要です。



<目指すまちの姿>

- 交通利便性や都市機能の集積を活かし、人・モノ・情報が交流する賑わいのあるまち
- 地域資源を活用して多様なふれあいの生まれるまち
- 地域内における多世代交流が盛んなまち
- 子育てしやすい環境の整ったまち

<まちづくりの方針>

- 交通利便性と集積する都市機能を活かして、東松島市の顔となり、賑わいのある中心市街地の活性化を進めます。
- 地域資源を活用し、広域から多くの人が集まる賑わいのある拠点づくりを進めます。
- 多世代が交流できるイベントの実施などを通じて、地域コミュニティの強化を図ります。
- 地域の代表的な産業として、農業を支える担い手の確保・育成や体制づくりを進めるとともに、6次産業化※に向けた取り組みを推進します。
- 若者の定住促進に向けて、子どもを安心して育てられる環境づくりを推進します。

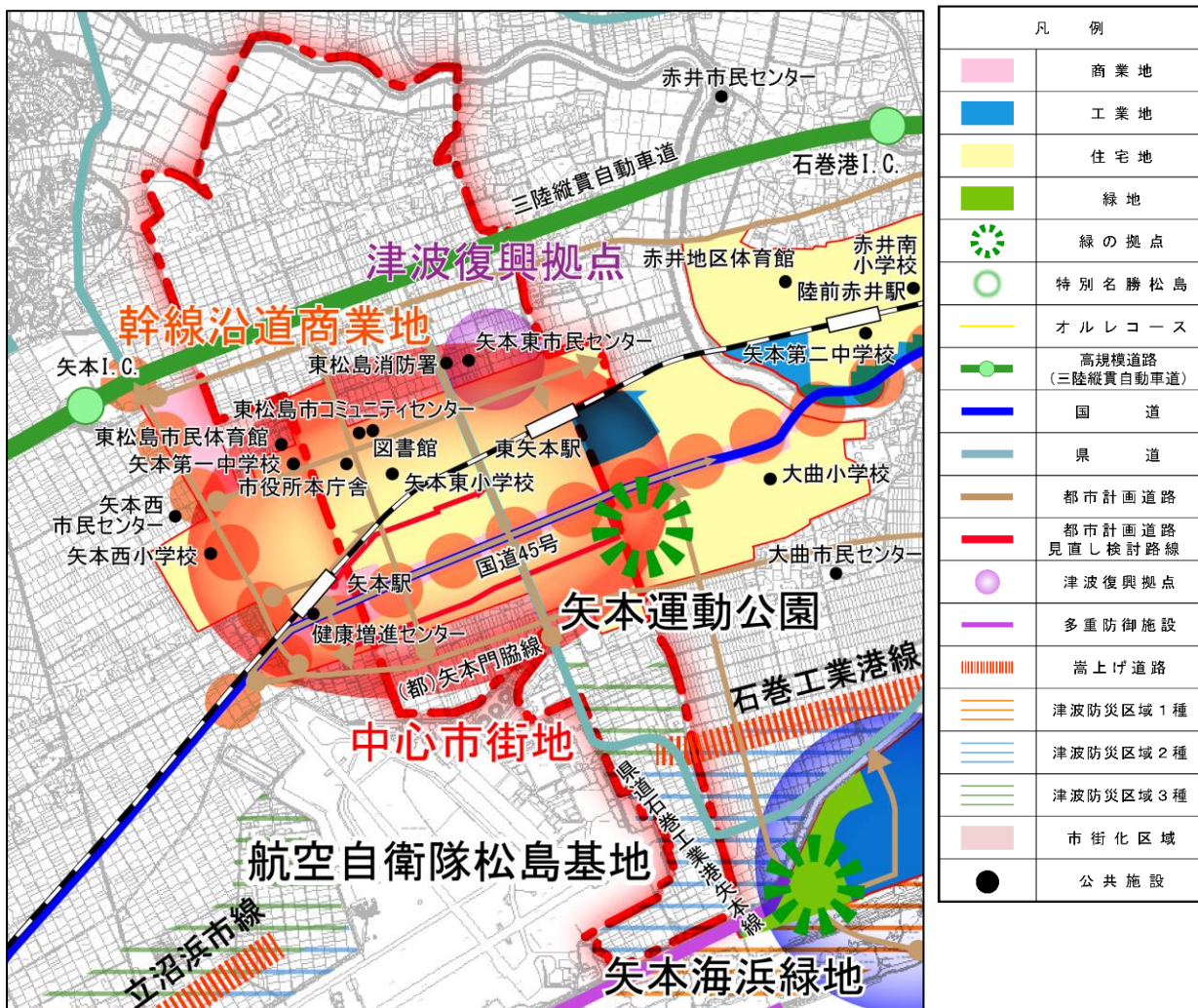
※6次産業化：第1次産業と、これに関する第2次、第3次産業（加工・販売等）に係る事業の融合等により、地域ビジネスの展開と新たな業態の産業を創出する取り組み。

②東松島市都市計画マスタープランにおける取組

○ 交通利便性と都市機能等の集積を活かした中心市街地としてのまちづくり

- ▶ 交通利便性と集積する都市機能の拡充による市の顔となる中心コアの形成
恵まれた交通環境や市役所をはじめとした公共・公益施設という都市機能の集積を活用した中心拠点の形成を促進します。
- ▶ 公共・公益施設や商業施設等と住宅とが共存する都市中心住宅地の充実
市役所や保健相談センター等の行政機能やショッピングセンターと戸建て及び集合住宅が融合した良好な中心住宅地のさらなる住環境の充実を図ります。
- ▶ 航空自衛隊松島基地や東松島市コミュニティセンター等を活用した観光・交流の促進
航空自衛隊松島基地の航空祭や各種イベントが開催される東松島市コミュニティセンターを活用し、他の地域における観光施設やイベントと連携した観光・交流機能の充実を図ります。
- ▶ 東矢本地区津波復興拠点の活用
東日本大震災からの復興事業として整備した東矢本地区津波防災拠点の防災機能の拡充に努めるとともに災害時に役立つ消防・防災訓練等の有効活用を促進します。

■ 矢本東地域 地域別構想図



(2) 矢本西地域

①東松島市第2次総合計画に掲げる地域別まちづくり構想

<地域の現状>

- 矢本西地域は、東松島市の中心部に位置し、JR 仙石線矢本駅、三陸縦貫自動車道矢本 IC が立地するほか、国道 45 号などの幹線道路が縦横する交通利便性に優れた地域です。
- 西部には農地が広がる一方、JR 仙石線矢本駅周辺には、住宅が立ち並び、大規模小売施設も立地する市街地が広がるなど、住宅地、商業地、農業用地が混在する地域です。
- 西部には、地域に愛される桜の名所である滝山公園があるほか、南部には、ブルーインパルスが所属する航空自衛隊松島基地があります。
- 沿岸に近い地区では、東日本大震災による津波により著しい被害を受けたため、集団移転先となる「二反走地区」の整備が行われました。

<地域の課題>

- JR 仙石線矢本駅、矢本 IC など優れた交通環境があり、大規模商業施設などの都市機能が集積している地域の特徴を活かしたまちづくりが必要です。
- 滝山公園や航空自衛隊松島基地等の地域資源を活かしたまちづくりが必要です。
- 「二反走地区」を含め、地域コミュニティのさらなる活性化に取り組むことが必要です。
- 従事者の減少や高齢化、後継者不足などに対応し、地域産業である農業の活性化が必要です。
- 津波による著しい被害を受けた地区では、農地復興を含めた復興と、さらなる防災力の強化が必要です。



<目指すまちの姿>

- 地域内外の人たちにとって、魅力のある機能が集積し、多様な賑わいが生まれるまち
- 地域内にある歴史・文化を大切にしながら、多世代交流が生まれるまち
- 農業を通じた魅力と活力のあふれるまち

<まちづくりの方針>

- 高い交通利便性のもと、地域資源を活かしながら、広域から多くの人が集まる交流や、特産品等の情報発信・PR の場として、中心市街地の活性化を進めます。
- 伝統芸能の伝承活動や、市民センター新設などによる地域の交流の場づくりを通じて、多世代が支え合う地域コミュニティの強化を図ります。
- 地域の身近な産業として、広く地域住民の協力や参加のもとで、農業の振興に取り組みます。
- 農地復興を含めた沿岸地区の再建の早期実現を図るとともに、さらなる防災力の強化を図ります。

②東松島市都市計画マスタープランにおける取組

○ 矢本駅、矢本I.C.及び商業施設等と自然が調和した機能的なまちづくり

▶交通起点やショッピングセンターが立地する機能的な市街地の形成

JR仙石線矢本駅や三陸縦貫自動車道インターチェンジ等の交通起点やショッピングセンターの立地を活かした機能的な市街地の形成を促進します。また、矢本P.A.の隣接地への道の駅立地を検討していきます。

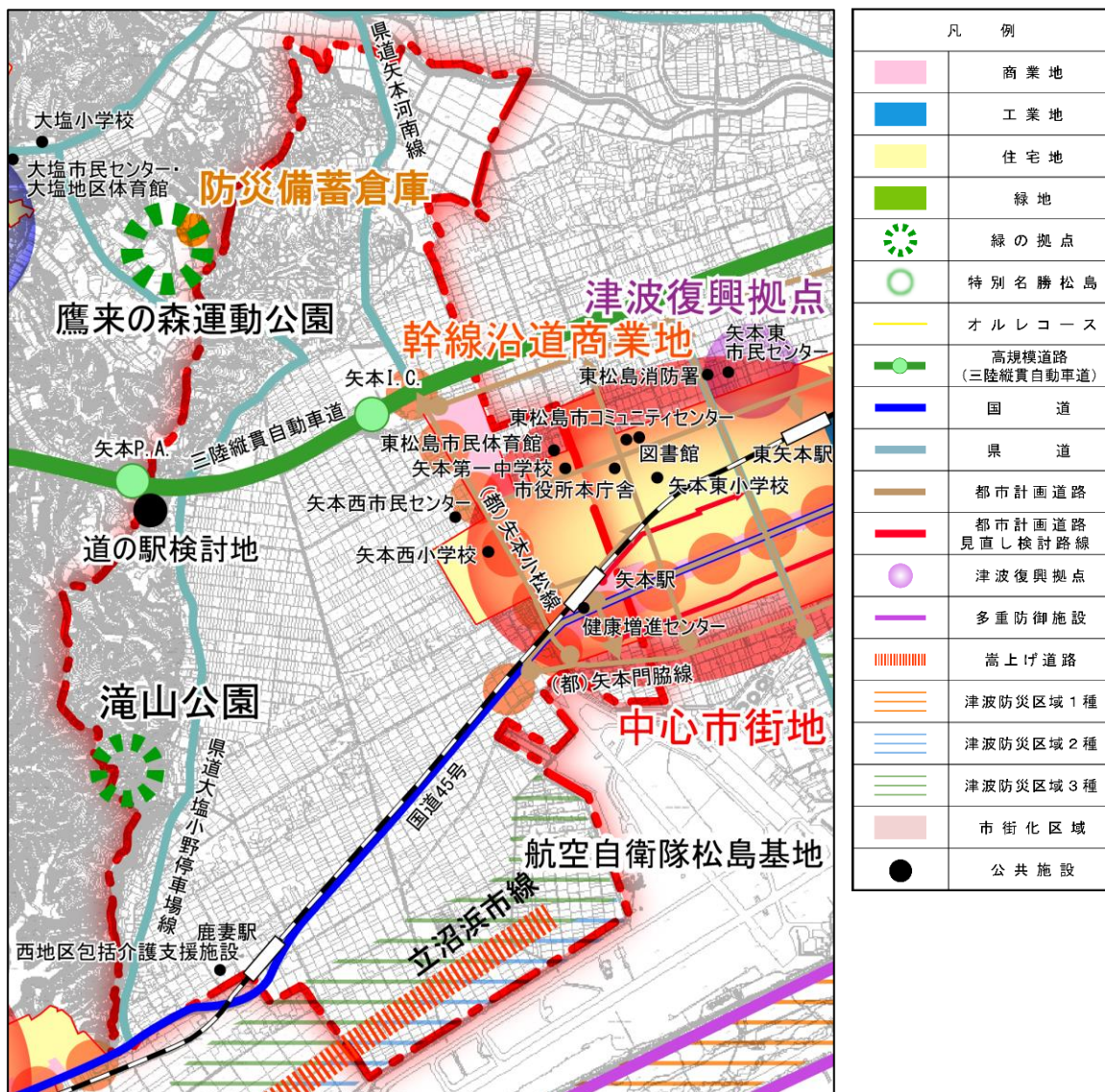
▶豊かな自然と機能的な市街地が調和した地域環境

住環境が整った住宅地、民間開発により整備されたショッピングセンター、介護医療施設が立地する利便性の高い市街地と農地、丘陵部という豊かな自然が調和した地域環境の保全を図ります。

▶地域内2箇所の地区公園の活用による賑わいの創出

豊かな自然環境を活かした地区公園である山崎公園と滝山公園の適切な維持管理と機能拡充に努めることで地域活性化や賑わいの創出を図ります。

■ 矢本西地域 地域別構想図



(3) 大曲地域

①東松島市第2次総合計画に掲げる地域別まちづくり構想

<地域の現状>

- 大曲地域は、東松島市の東南に位置し、地域を流れる定川を境に、東は石巻市、南は太平洋に面している、農地と漁場のある地域です。
- 地域を国道45号や市道石巻工業港線、都市計画道路矢本門脇線が横断しています。
- 国道45号沿道には、住宅街が、北部には農地が広がっています。南部には、津波により著しい被害を受けた大曲浜地区があり、産業用地として整備されています。また、被害が大きかった県立都市公園矢本海浜緑地も再整備されています。

<地域の課題>

- 地域で盛んな漁業・農業は、地域さらには本市の活力を生み出す基幹産業として活性化を図る必要があります。
- 土地区画整理事業により整備されている大曲浜地区は、産業系用地として有効活用を図る必要があります。
- 東日本大震災に被害を受けた大曲浜漁場や農地等の復興、県立都市公園矢本海浜緑地の再整備、定川の河川堤防の整備・機能強化など、復興まちづくりの推進が必要です。
- 国道45号及びJR仙石線沿いの住宅地では、良好な住環境の維持に向けた取組が必要です。



<目指すまちの姿>

- 漁業・農業を通じた魅力と活力あるまち
- 新しい産業が創出されるまち
- 安全・安心で良好な住環境が維持されたまち

<まちづくりの方針>

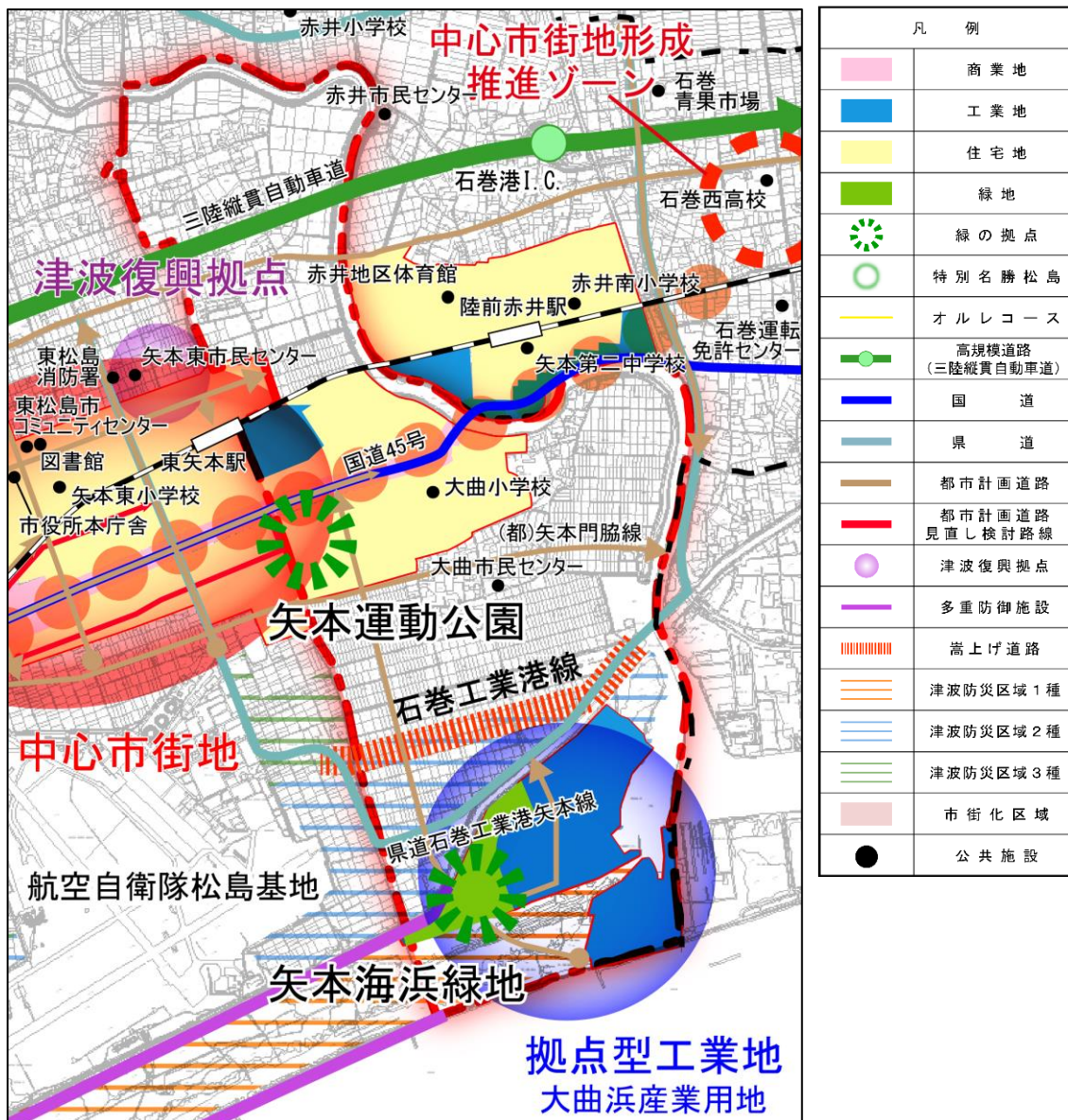
- 地域さらには本市の基幹産業として、漁業・農業を支える担い手確保・育成や体制づくりを進めるとともに、6次産業化に向けた取組を推進します。
- 大曲浜地区では、さらなる企業誘致などを通じて、新たな産業の創出や、働く場の確保に向けて、土地利用の促進を図ります。
- 定川の河川堤防の整備・機能強化を進めるとともに、浸水した農地等の復興の早期実現を目指します。
- 地域まちづくりの担い手の確保・育成を進め、良好な住環境が維持できるよう、地域コミュニティの強化を図ります。
- 地域の賑わいの回復に向け、再整備された県立都市公園矢本海浜緑地の活用を図ります。
- 避難路の整備・充実など、安全・安心に生活できる環境づくりを目指します。

②東松島市都市計画マスタープランにおける取組

○ 新産業地や矢本海浜緑地等を活用した地域協調のまちづくり

- ▶復興事業により整備・拡充した大曲浜地区の拠点型工業地としての活用
東日本大震災により住宅地から新産業地に土地利用転換した大曲浜地区の賑わいを活かし、地域活性化を促進します。
- ▶一般住宅地としての居住環境水準の維持・向上
JR仙石線や国道45号沿線に形成されてきた住宅市街地の居住環境の維持に努めるとともに、都市計画道路矢本門脇線周辺の整備に伴い、若い世代を呼び込む住宅地や沿道サービス施設等の配置を進めるための市街地の形成を図ります。
- ▶スポーツ活動拠点である矢本運動公園の機能維持と、再生された矢本海浜緑地パークゴルフ場や公園施設の充実を図り、「スポーツ健康都市」として健康と活力ある地域づくりを推進します。

■ 大曲地域 地域別構想図



(4) 赤井地域

①東松島市第2次総合計画に掲げる地域別まちづくり構想

<地域の現状>

- 赤井地域は、東松島市の北東部に位置し、東は石巻市に隣接し、地域内には定川、赤井堀が流れています。
- 東西に国道45号、三陸縦貫自動車道が走り、JR仙石線陸前赤井駅も立地していることから、交通利便性が高い地域です。
- 北部を中心に田園地帯が広がり、ねぎ、とうもろこしなどの野菜の優良産地となっています。一方、南部では、昭和50年代から宅地化が進み、国道沿道を中心に、商業・サービス業が立地しています。
- 地域内には、県立石巻西高校、石巻運転免許センターなど、文教・公共施設が立地し、赤井遺跡などの地域資源があります。
- 東日本大震災における津波により、定川が越流し、浸水被害に見舞われたため、定川の河川堤防の整備・機能強化への取組が進められています。

<地域の課題>

- 人口減少、高齢化が進む中、充実したコミュニティを活かして、地域活力を生み出し続けることのできるまちづくりが必要です。
- 石巻市に隣接する地域としての特性を踏まえたまちづくりが必要です。
- 従事者の減少や高齢化、後継者不足などに対応し地域産業である農業の活性化が必要です。
- 交通安全対策や避難路を確保するための安全な道路環境の整備を図ることが必要です。
- 災害に対応すべく、定川の河川堤防の整備・機能強化、市街地の排水機能の充実を図っていく必要があります。



<目指すまちの姿>

- 東松島市の東の玄関口にふさわしい活気あふれるまち
- 子育てしやすく、高齢者が元気でいられるまち
- 安全・安心で暮らしやすい住環境があるまち
- 農業を通じた賑わいのあるまち

<まちづくりの方針>

- 若者の定住の促進に向け、子どもを安心して育てられる環境づくりを推進します。
- 地域コミュニティを活かし、高齢者が元気で生き活きと暮らせる環境づくりを進めます。
- 地域の代表的な産業として、農業を支える担い手の確保・育成や体制づくりを進めるとともに、付加価値の高い農産物の生産・販売に取り組みます。
- 定川の河川堤防の整備・機能強化、市街地の排水機能の充実を図るとともに、市内の各地をはじめ、石巻市とを結ぶ、安全で便利な道路環境の整備を促進します。

②東松島市都市計画マスタープランにおける取組

○ 東の玄関口にふさわしい活気あふれる結束力を活かしたまちづくり

▶一般住宅地としての居住環境水準の維持・向上

JR仙石線や国道45号沿線に形成されてきた住宅市街地の介護・福祉、医療が充実した居住環境の維持に努めるとともに、強い地域結束力が特徴の地域コミュニティ活動の維持・向上を図ります。

▶石巻地方拠点都市計画地区の開発ポテンシャルを活かした土地利用の検討

石巻地方拠点都市計画に位置付けされ、開発が予定されている柳の目地区について、その実現性を見定めつつ市街化区域への編入手続きを行います。

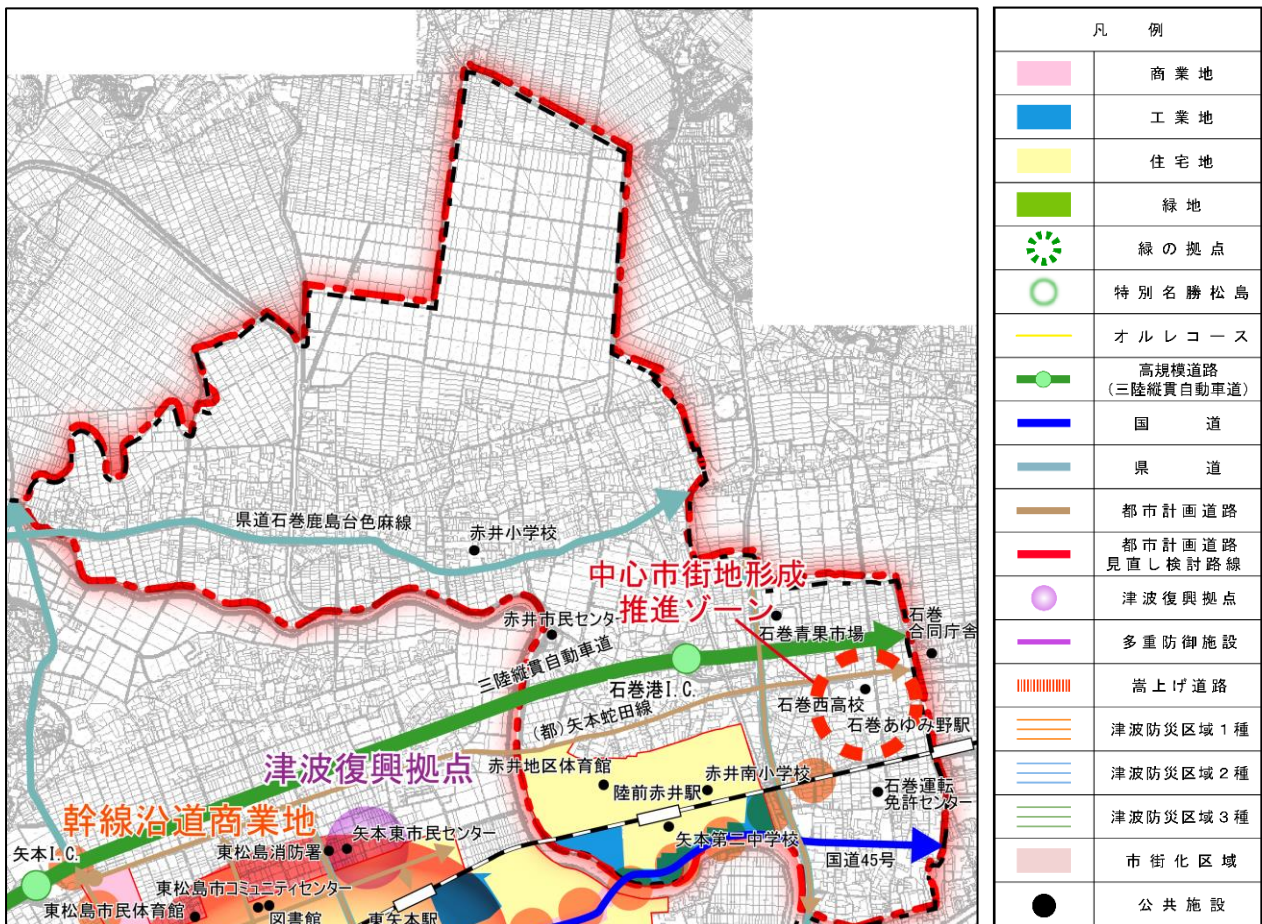
▶既存市街地と規模集落を連携する地域拠点づくりの推進

既存市街地と農村集落を結ぶ接点に位置する地区について、民間による地域拠点づくりの整備が計画されており、その実現性を見定めつつ市街化区域への編入を検討します。

▶地域北側に広がる集团的農地の維持・保全

地域北側の農村集落の北部に広がる優良農地は将来ともその環境を維持・保全します。

■ 赤井地域 地域別構想図



(5) 大塩地域

①東松島市第2次総合計画に掲げる地域別まちづくり構想

<地域の現状>

- 大塩地域は、東松島市の北西に位置し、自然豊かな丘陵地帯にあります。
- 県道石巻鹿島台色麻線、河南鳴瀬線、大塩小野停車場線のほか、三陸縦貫自動車道が通過するなど、幹線道路が地域を縦横断しています。
- 当地域の大部分は、森林と田畑に囲まれています。大塩小学校周辺には、良好な住宅地が形成され、グリーンタウンやもとは、食品加工業を中心に民間企業が集積しています。
- 屋外運動場などを備えた鷹来の森運動公園があり、市民の憩いの場として利用されているほか、歴史文化資源が点在しています。

<地域の課題>

- 地域で盛んな農業は、地域さらには本市の活力を生み出す基幹産業として活性化を図る必要があります。
- 鷹来の森運動公園などの地域資源を活かしたまちづくりが必要です。
- グリーンタウンやもとの産業用地の有効活用が必要です。
- 人口減少や高齢化の進む中、良好な住環境の維持や、高齢者などが移動しやすい交通環境づくりが必要です。



<目指すまちの姿>

- 強い農業と魅力ある住環境のあるまち
- 豊かな自然と地域資源を活かした、多様なふれあいの生まれるまち
- 新しい産業が創出されるまち

<まちづくりの方針>

- 地域さらには本市の基幹産業として、農業を支える担い手の確保・育成や体制づくりを進めるとともに、付加価値の高い農産物の生産・販売に取り組みます。
- 鷹来の森運動公園や地域の豊かな自然や資源を活かし、スポーツ・レクリエーション交流を中心に、市内外の多様な交流の機会づくりに取り組みます。
- グリーンタウンやもとを中心に、さらなる企業誘致などを通じて、新たな産業の創出や、働く場の確保に向けて産業用地の利活用を促進します。
- 多世代交流ができるイベントの実施などを通じて、地域コミュニティの活性化を進めます。
- デマンドタクシー※の利用促進などを通じて、地区センターをはじめ、市内各地へ行き来しやすい交通環境の充実を図ります。

※デマンドタクシー：タクシー車両を使用して、事前に予約した方を、自宅などから目的地まで「戸口から戸口に」運ぶ新しい公共交通システム

②東松島市都市計画マスタープランにおける取組

○ 住工一体型市街地と既存集落が融合した地域愛(活力)を活かしたまちづくり

▶一般住宅地としての居住環境水準の維持・向上

県道石巻鹿島台色麻線等のほか、三陸縦貫自動車道が通過するなど、幹線道路が縦横断する交通便利性を活かし、住宅市街地の居住環境の維持に努めるとともに、農村集落も含む地域活力を活かした地域コミュニティ活動の維持・向上を図ります。

▶持続可能な地域公共交通ネットワークの確保

幹線道路網が充実しており、公共交通機関であるJR仙石線最寄り駅からの地域公共交通ネットワークの確保に努めます。

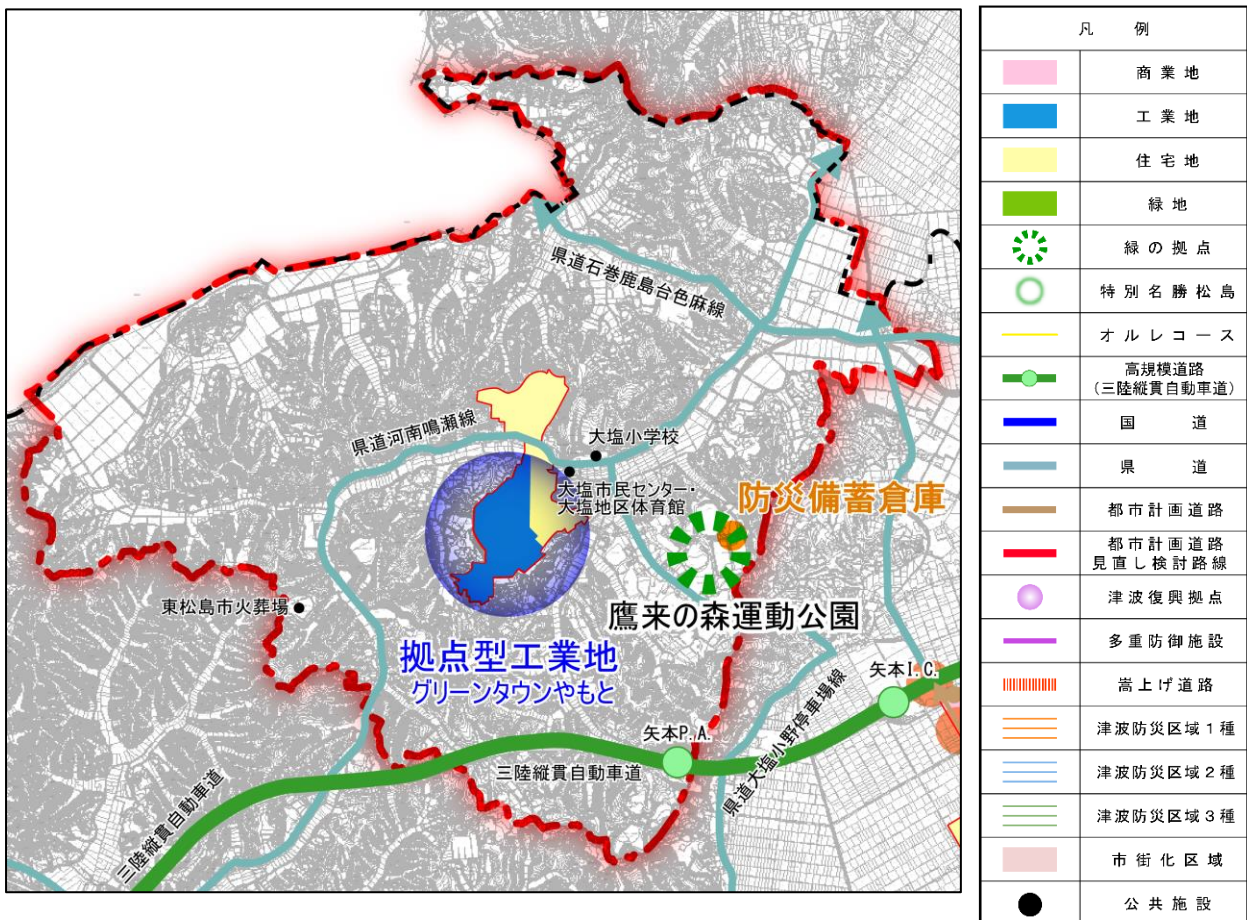
▶住工一体団地として整備されたグリーンタウンやもとの内陸型工業地に相応しい企業の立地誘導

自然に囲まれた環境に配慮し食品加工系工場の立地が進むグリーンタウンやもとの工業地について、森林に囲まれた自然環境への配慮が求められる中で、矢本インターチェンジに近接する利点を活かし、食品加工系工場を中心に積極的な立地誘導に努めます。

▶全天候型テントシート練習場を完備した本格的な野外運動施設の活用

鷹来の森運動公園や地域の豊かな自然や資源を活かし、スポーツ・レクリエーション交流を中心に、市内外の多様な交流の場づくりに取り組みます。

■ 大塩地域 地域別構想図



(6) 小野地域

①東松島市第2次総合計画に掲げる地域別まちづくり構想

<地域の現状>

- 小野地域は東松島市の西端に位置し北は美里町、西は松島町、南は太平洋に面しています。
- 鳴瀬川と吉田川に沿って集落が形成され、地域には、三陸縦貫自動車道鳴瀬奥松島 IC や JR 仙石線陸前小野駅など、交通施設が立地しています。また、国道 45 号、県道鳴瀬南郷線などの幹線道路が地域内を縦横断しています。
- 中央部には、東松島市役所鳴瀬庁舎を中心に公共施設や鳴瀬桜華小学校が集積するほか、陸前小野駅周辺では区画整理により住宅地が広がっています。
- 北部は森林や農地が広がっているほか、鳴瀬奥松島 IC 付近にはひびき工業団地があり、産業用途が集積可能な土地が整備されています。
- 南部は震災により、集団移転を含む地区の復興や漁港の復興・再生等の取組・検討が進められています。

<地域の課題>

- 人口減少、高齢化が進む中、良好な住環境の維持や、地域産業である農業の活性化が必要です。
- 生活利便性の向上や市内各地への往来がしやすいよう交通利便性を高める必要があります。
- 良好な住環境を活かし、若者が定住しやすい環境づくりに取り組むことが必要です。
- 地域の大切な資源である里山の維持・保全を適切に進めていくことが必要です。
- 沿岸部の復興への取り組みを加速していくことが必要です。



<目指すまちの姿>

- 東松島市の西の中心拠点として、魅力と賑わいがあり、交通利便性の高いまち
- 新しい産業が創出されるまち
- 自然と共存した良好な住環境が維持されたまち

<まちづくりの方針>

- 地域コミュニティの担い手の確保・育成に取り組むとともに、地区センターを中心にまちづくり活動のさらなる活性化を図ります。
- 公共交通の利便性向上を促進するとともに、西の中心市街地にふさわしい生活利便機能の充実を図ります。
- 若者の定住促進に向けて、子育てしやすい環境づくりや、新しい居住者が地域に溶け込みやすい環境づくりを進めます。
- 地域の代表的な産業として、農業を支える担い手の確保・育成や体制づくりを進めるとともに付加価値の高い農産物の生産・販売に取り組めます。
- 復興事業の早期実現を目指します。

②東松島市都市計画マスタープランにおける取組

○地域一体となった取り組みによる都市機能再生のまちづくり

▶交通利便性や既存の市街地機能の活用と施設再生による地域づくりの推進

幹線道路が縦横断する交通利便性を活かし形成されてきた市街地機能や新しい鳴瀬桜華小学校校舎の建設、旧鳴瀬桜華小学校及び旧鳴瀬未来中学校を活用した全寮制私立高等学校（日本ウェルネス宮城高等学校）の立地など、市域の西の玄関口に相応しい活気あふれる地域づくりを推進します。

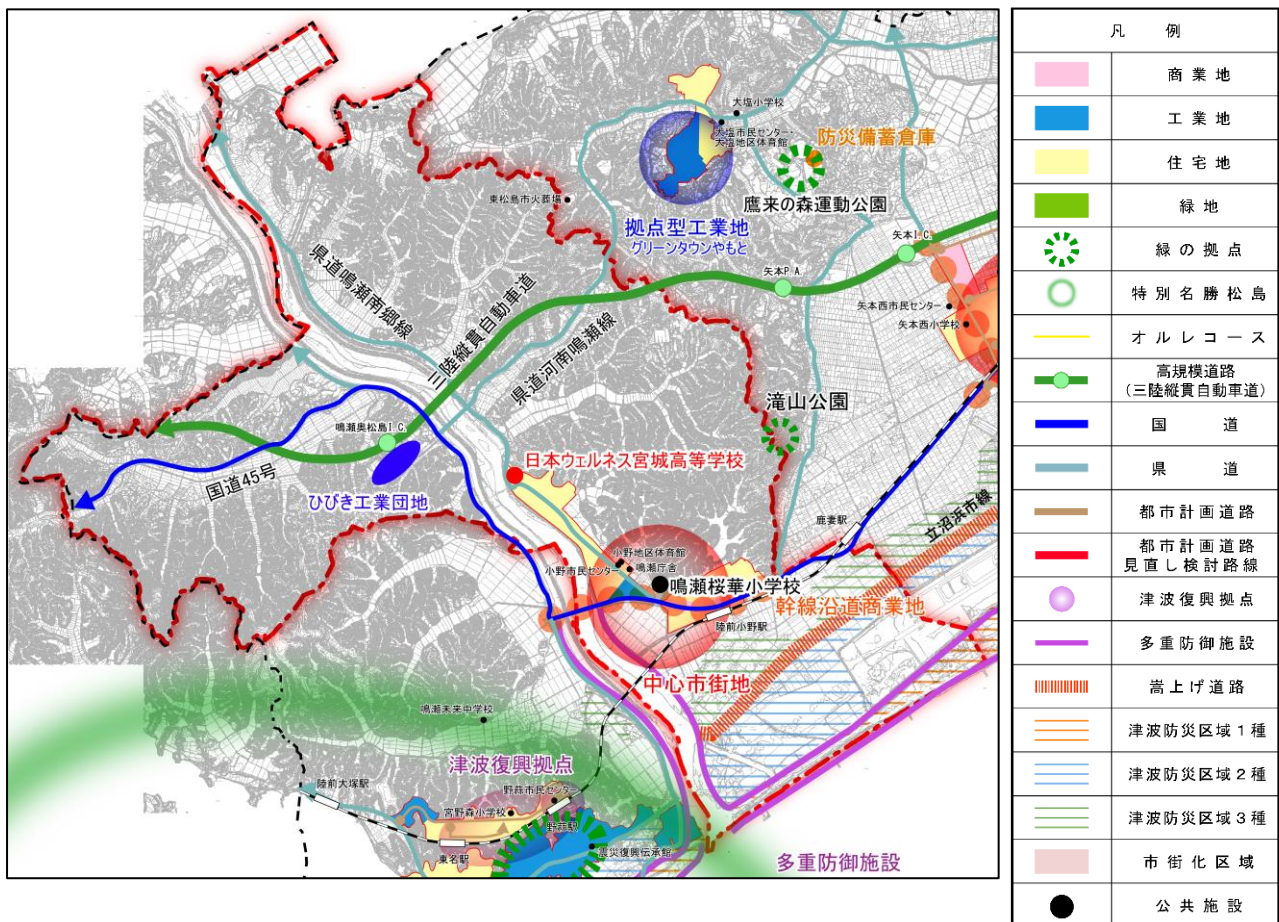
▶一般住宅地としての居住環境水準の維持・向上

県道鳴瀬南郷線等のほか、三陸縦貫自動車道が通過するなど、幹線道路が縦横断する交通利便性を活かし形成されてきた住宅市街地の居住環境の維持に努めるとともに、農村集落も含む地域一体となった取り組みという地域性に基づく地域コミュニティ活動の維持・向上を図ります。

▶沿岸部の移転元地の地域特性を踏まえた畑地転換事業の推進

復興事業として実施した宅地から畑地に転換する移転元地活用を推進します。

■ 小野地域 地域別構想図



(7) 野蒜地域

①東松島市第2次総合計画に掲げる地域別まちづくり構想

<地域の現状>

- 野蒜地域は、東松島市の南西部に位置し、西は松島町と、南は太平洋に面しており、松島町、宮戸地域とともに特別名勝松島に指定されています。
- 地域には国道45号、県道鹿島台鳴瀬線、奥松島松島公園線等の幹線道路が縦横断しているほか、JR仙石線の3駅（野蒜、東名、陸前大塚）が立地する等交通利便性の高いまちです。
- このほか、東名運河や豊かな自然、多くの文化財など地域資源が点在しています。
- 震災の影響で、東名運河以南では、自然エネルギー供給地等への土地利用転換の取組が進んでいます。
- 高台への市街地移転として「野蒜ヶ丘地区」が整備されており、高台移転にあわせJR仙石線野蒜駅、東名駅等が移設しています。
- 防潮堤の復旧整備、東名漁港の復興・再生等の取組も進められています。

<地域の課題>

- 「野蒜ヶ丘地区」では、魅力の高い新市街地のまちづくりが必要です。
- 市外に転居している若い世代や、新たな居住者の定住を促進する必要があります。
- 地域資源を活かし、観光、農業、漁業の振興を図っていくことが必要です。
- 農地・水田の復旧、防潮堤の復旧整備、東名漁港の復興・再生、避難道路の整備等の実現が必要です。
- 東名運河や知名度の高い海水浴場を有する野蒜海岸など震災の被害を受けた元地の活用の検討を進め、事業化を図ることが必要です。



<目指すまちの姿>

- 東松島市の西の玄関口として、地域資源を活用した多様なふれあいと賑わいが生まれるまち
- 自然と共存した良好で美しい街並みのある、誰もが安全で安心して過ごせるまち
- 子育てしやすい環境が整った、若者を引き付ける魅力があるまち

<まちづくりの方針>

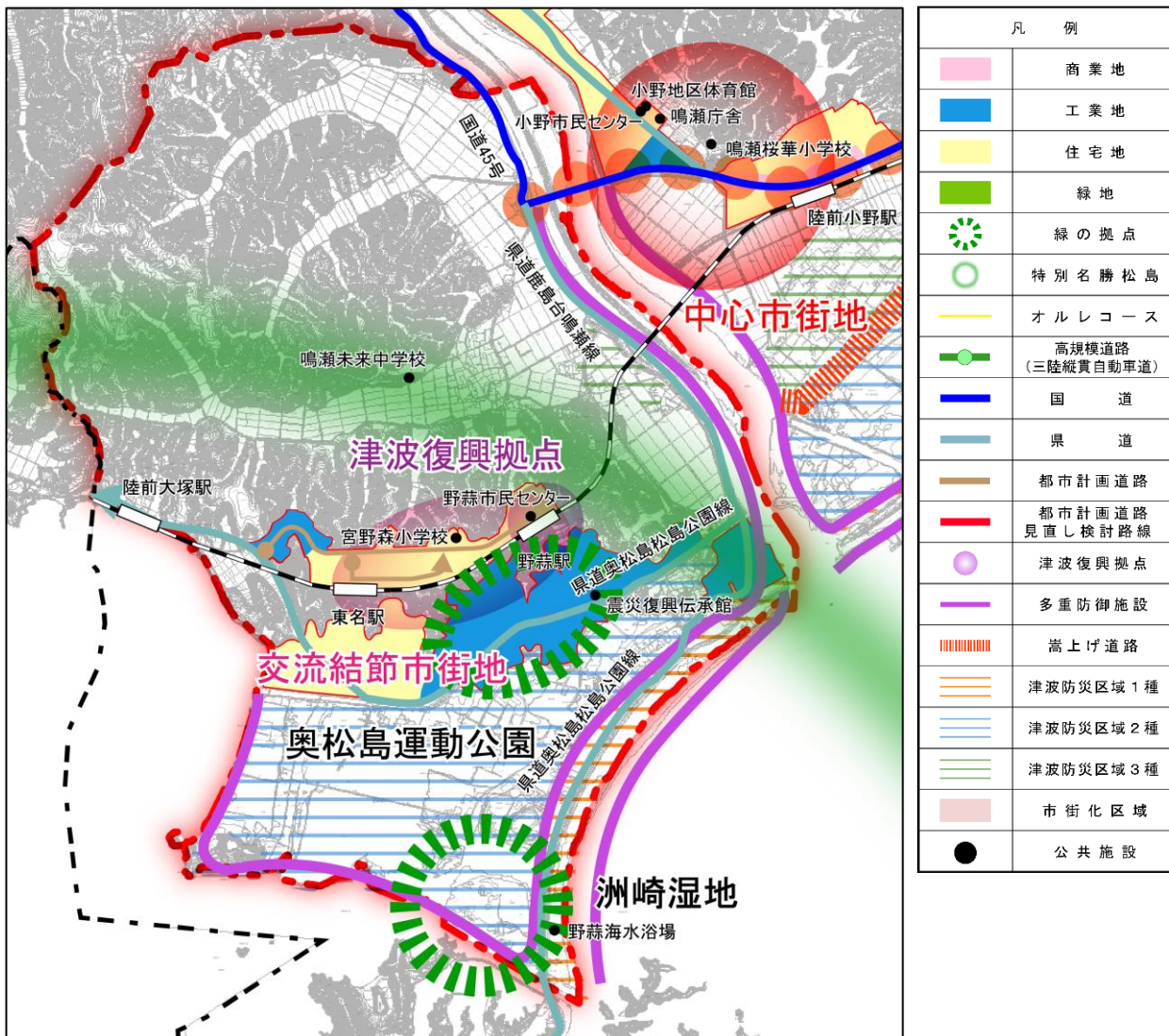
- 新市街地の魅力あるまちづくりの基礎として、地域コミュニティの再生・強化を図ります。
- 新市街地への定住促進に向けて、森の学校などを活かしながら、子どもを安心して育てられる環境づくりを推進します。
- 野蒜駅などを起点に眺望点や震災遺構である旧野蒜駅プラットホームなどをめぐる、広域的な観光・交流のネットワークづくりを進めます。
- 農業、漁業の振興を通じ、活気のあるまちづくりを進めます。
- 防潮堤の復旧整備、東名漁港の復興・再生等の実現を目指すとともに、元地の新たなまちづくりの検討を進めます。

②東松島市都市計画マスタープランにおける取組

○ 新市街地の形成による魅力ある交流や賑わいが生まれるまちづくり

- ▶ 仙台圏への近接性を活かした、野蒜地域における交流結節市街地の魅力の形成
 集団移転先として整備した高台の新市街地や震災遺構である旧野蒜駅など、広域的な観光・交流のネットワークを活用した魅力ある市街地形成を促進します。
- ▶ 魅力あるまちづくりの推進による地域コミュニティの再生・強化
 自然と共存した美しい街並みや活気ある新市街地の特色を活かした地域コミュニティの再生・強化を図ります。
- ▶ 持続可能な地域公共交通ネットワークの確保
 豊かな地域資源を活用した多様なふれあいや賑わいのあるまちを目指すとともに、観光・交流につながる地域公共交通の確保に努めます。

■ 野蒜地域 地域別構想図



(8) 宮戸地域

①東松島市第2次総合計画に掲げる地域別まちづくり構想

<地域の現状>

- 宮戸地域は、東松島市の南西部に位置し、周囲を松島湾に囲まれた、風光明媚な景観のある漁業の盛んな地域です。
- 地域の大部分を占める丘陵地帯と農地の合間を、県道奥松島松島公園線が縦横断し、沿岸部には4つの集落が形成されています。
- 日本最大級の規模を誇り、古くから多数の縄文人骨や漁具、多彩な骨角器が出土することでも知られる里浜貝塚や、歴史を学ぶことのできる奥松島縄文村歴史資料館があるほか、国の重要無形民俗文化財で、一年の豊作や無病息災を祈願する地域の伝統行事「月浜えんずのわり」など、文化・観光資源が豊かです。
- 震災による津波被害により、低地部では里浜地区を除きほぼ壊滅しており、比較的被害の少なかった里浜地区においても、漁港部の地盤沈下に伴う浸水被害がありました。そのため、移転先地となる丘陵部が整備されています。

<地域の課題>

- 地域で盛んな漁業は、地域さらには本市の活力を生み出す基幹産業として活性化を図る必要があります。
- 地域の活気を生み出すよう、豊かな歴史資源や自然環境を活かした交流の促進が必要です。
- 地域内外への移動がしやすい環境を形成していくことが必要です。
- 移転地での生活再建を促進するとともに、漁業の復興を進めていくことが必要です。



<目指すまちの姿>

- 地域の歴史・観光資源を活用して多様なふれあいが生まれるまち
- 風光明媚な景観が維持されたまち
- 漁業が盛んなにぎわいのあるまち
- 利便性と良好な住環境が形成されたまち

<まちづくりの方針>

- 地域さらには本市の基幹産業として、漁業を支える担い手の確保・育成や体制づくりを進めます。
- 地域の歴史資源や風光明媚な自然を、多くの人々に楽しんでもらえる機会・場づくりを進めるとともに、広く情報発信・PRを進めます。
- 定住促進を図るために、野蒜駅をはじめ市内各地への往来がしやすくなるよう、交通利便性の強化を図ります。
- 移転地での生活再建や漁業の復興の実現を目指します。

②東松島市都市計画マスタープランにおける取組

○ 豊かな歴史資源や自然環境等の魅力を活かしたまちづくり

▶特別名勝松島をはじめ個性ある緑の景観の保全・活用

我が国を代表する観光資源の日本三景のひとつ、特別名勝松島の景観の維持・活用を図り、ふれあいや賑わいにあふれた地域づくりを推進します。

▶宮城オルレに係る環境整備など、国際観光・交流拠点としての整備・活用

地域の歴史資源や風光明媚な自然を多くの人々が楽しむことができるよう、宮城オルレ奥松島コースや奥松島船舶離発着施設の整備、宮城県松島自然の家や観光・交流施設あおみな、大浜湿地の活用などを進めます。

▶生業や生活環境の維持及び観光・交流の促進に向けた地域公共交通ネットワークの確保

暮らしやすさと一層の観光・交流の促進を目指し、JR仙石線野蒜駅をはじめ市内各地への往来がしやすくなるよう、交通ネットワークの確保に努めます。

■ 宮戸地域 地域別構想図

